

★ 古い道具と昔の暮らし（かわってきた人々の暮らし）

教材：小鯖小歴史民俗資料室にある、地域で使われてきた古い道具
ねらい：古い道具を調べ、昔の暮らしの様子についてイメージできるようになる。

〈学習指導要領：第3学年及び第4学年 内容(5) ア に対応〉

教材について

小鯖小学校には歴史民俗資料室があり、地域で実際に使用されてきたさまざまな生活道具や農具が寄贈され、展示されている。展示物のほとんどは、実際にふれたり使用したりすることができる。

〔展示内容〕

（生活資料）農家室内再現、生活用具、家具、玩具、教科書、新聞等

（農具資料）鋤、馬鋤、田植定規、脱穀機、唐箕等



展開例

学習の流れ

- ①昔の道具をみて、使い方を想像してみよう。
- ②先生や昔の道具の使い方を知る人から、使い方の説明を聞き、実際に触れてみよう。
- ③実際に使ってみてわかったことや、説明を聞いてわかったことをまとめ、発表しよう。

授業づくりのポイント

- ◇昔の道具をみて、不思議におもったところをメモしたり、写真にとったりしながら記録するよう伝える。
- ◇何に使うのか、どう使うのかを、自分自身で想像してみることが重要であることを伝える。
- ◇壊れたり、けがすることがないように、留意点をしっかり伝える。

教材研究（パンフレットより）

無駄のない生活用具

何に使うのか、どうやって使うのか、不思議な生活用具がたくさんあります。電気もガスもない時代に活躍したエコで機能的な用具の数々です。触れてみて、その温もりを感じてください。

農家室内配置図



薪や炭を使った生活は、今とは全く違い家事は大変でした。

小鯖で活躍した農具

展示している各種の農具は、古くは江戸末期から明治時代のもの、昭和初期及び戦後間もない時期のものまで多岐にわたっています。お米を大切にされた農家の苦勞がしのべれます。

田起こしや代かき等の作業は、原動機が普及する以前は、牛馬が大切な動力でした。

田植・草取り作業などもすべて人力で行っていました。

脱穀機も木製から金属製へと進歩し作業が一段とはかどるようになりました。

